

【特集】 現代における解離—診断概念の変遷を踏まえ臨床的な理解を深める

特集にあたって……………岡野憲一郎・金 吉晴

解離性障害の現代的な意義

……………国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所名誉所長 金 吉晴

解離はなぜ誤解され、無視されるのか……………本郷の森診療所 岡野憲一郎

現代の精神科臨床で解離はどのように扱われているか？

……………国立精神・神経医療研究センター・薬物依存研究部 松本 俊彦

健忘と遁走の関連性—全生活史健忘の検討から……………おおよクリニック 大矢 大

転換や心因性という概念はなぜ消えたのか

……………兵庫県立ひょうごこころの医療センター 田中 究

精神科と脳神経内科との境界の解離性障害—PNES（心因性非てんかん発作）

……………国立精神・神経医療センター病院・てんかん診療部 谷口 豪

構造的解離理論とその後……………のまこころクリニック 野間 俊一

現代におけるジャネと解離—フランスの文脈からの再考

……………梅花女子大学心理こども学部 河野 一紀

解離症と神経発達症……………株式会社商船三井医務室 柴山 雅俊

ドイツ精神医学における解離—歴史的素描……………立教大学文学部史学科 梅原 秀元

解離性障害と器質論……………国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所名誉所長 金 吉晴

複雑性 PTSD と解離……………国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所名誉所長 金 吉晴

一般外来における解離性同一性障害の治療—精神分析の立場から

……………四谷こころのクリニック 加茂 聡子

解離は障害であり、力でもある……………特定非営利活動法人レジリエンス 中島 幸子

【研究と報告】 アルツハイマー病の日常生活機能障害（functional impairment）に影響する要因：記憶障害の指標で重症度を統制した検討

……………新潟医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚学科 鎌田 日南・他

（編集頁の都合により掲載論文が変更になることがあります。編集室）